

日本の未婚少子化対策を担う婚活業界の応援紙

婚活ビジネスニュース

MARRIAGE BUSINESS NEWS

発行所: 尚ブライダル産業新聞社 〒104-0061東京都中央区銀座8-15-15 銀座原ビル4F
TEL: 03(6226)9577 FAX: 03(6226)9578 発行人: 池田義信
E-mail: info@bridalnnews.co.jp

ブライダルマーケットがコロナによって例年の60%以上の落ち込みを見せた昨年、一方で婚活ビジネスが好調だ。昨年1年間の業績を見ても、最大手のIBJの婚活事業は、2019年対比で107%と伸びており、さらに新たに相談所事業を開始しようという事業者も増加して、加盟店数は前年度比プラス300店となっている。また、新たなマッチングアプリなども次々に登場しており、業界全体としても勢いが止まらない。ここにきて、婚活から結婚式の流れを構築する目的で、婚活事業に参入するブライダル企業も増加している。こうした傾向を踏まえて、本紙では毎月、婚活業界の動きを網羅する紙面を展開。今号では、注目を集めている各社の取り組みのほか、47都道府県の婚活支援制度を紹介する。



▲婚活塾は毎回定員が埋まる人気ぶり

〈注目経営者インタビュー〉



はんなり
代表取締役
吉沢詩乃氏

してもらい、どうしたら現状を抜け出せるのかを8名の講師が一人一人にカウンセリングしていきます。またプロのスタイリストによるヘアメイクも実施し、カメラマンも手配して婚活用の写真も撮影。デートに対するアドバイスも行います。ボリュームゾーンは30歳代後半です。私自身が書籍も出していますし、またメルマガやツイッターで成功事例、アドバイスなどを配信しており、講師陣のSNSのフォロワーは合計12万人になります。研修への申し込みは、そこから中心になっています。」

——実績もどんどん出ているため、注目も高まっています。

吉沢「受講した女性の96%が即告白され、70%は恋人ができています。ただ、あくまでも結婚がゴールになりますので、恋人が来てプロポーズまで時間がかかることもあり、現在は月額2万円～卒業生のコミュニティに加盟してもらい、結婚までのサポートもしています。実際に毎月、入籍したという報告が入ってきていますので、そうした情報をSNSなどで発信することにより、当社のサービスの認知も高まっています。」

吉沢「それ以外にも、2019年、2020年と様々なイベントを開催していきました。昨年はコロナ禍もあって、5月には婚活スナックaeruとコラボしたオンライン合コンを開催、6月にはオンライン読書会を開催して100名が参加しました。各イベントは全て満席で、2年間での累計動員数は1000名となります。リアルな婚活塾だけでなく、今後はオンラインも活用していきます。また、年収が高くかつ自己投資に積極的な消費意欲の高い女性が集まるコミュニティでもありますので、企業との提携なども進めていきます。」

行かない女性にとって必要なことは、自分自身を変えて最強の女性になるということです。条件を下げるという発想から入ると、この考えには至りません。基本はいかに自分を高められるかで、例えば婚活ではなかなかマッチングが難しいと言われる、50代の女性やシングルマザーがモテようになったという実績も出ています。婚活塾では3ヵ月間で集中的に女性の能力値を高めており、いわばカウンセリング的な役割もあります。毎期2、3名は、恋愛経験すらないという人もいます。例えばマッチングアプリを使っても、出会えないという悩みを持って来るわけですが、それは必ずしも相手に求める条件が理由ではなく、外見や雰囲気を含めて自分自身が出会える状態になっていないからで、そこを変え

ることができれば勝てる可能性も高まっていきます。」

年収1000万円の女性15%

——中には、年収1000万円以上の女性もいるようですが。

吉沢「一般的に年収1000万円以上の女性の比率は0.9%という調査もありますが、当社の婚活塾は全体の15%程度を占めており、それでも結婚が出来ないという悩みを持っています。彼女たちの婚活であるあるなのが、自らの年収や医者・経営者といった仕事内容を隠しているケース。男性側から見ると、自分よりも年収が上で、しかもハイキャリアの場合は敬遠されがちということで、婚活事業者がそのようにアドバイスすることもあるそうです。ただ彼女たちからすれば、自らの力で築き上げてきたものであり、それを隠すようにというのはこれまでを否定された気持ちになり、結果として婚活へのモチベーションも低くなってしまいます。キャリアについても下げて見せるのではなく、ありのままに出したうえで、それでもいい出会いが叶うよう自分自身を磨いていくサポートをしています。」

——婚活塾は約60万円と決して安くはありませんが、それでも毎回定員が埋まり、急遽増員するほどの人気ようですね。

吉沢「3ヵ月間で、これまでの恋愛経験や、その理由を自覚

もとリクルートに勤めていたので、身につけた営業ノウハウも生かしながら(笑)、100名以上の男性の意見を聞いていきました。その人たちが年収1000万円以上で、平均すると5000万円。彼らがパートナーに求めるのは、どのような外見、考え方、コミュニケーション、雰囲気なのかを身をもって収集していき、その時の経験が今の事業に生かされています。私自身も、パートナーを見つけることができましたので(笑)。」

——とはいえ、高収入のハイスペックの男性を射止めたいというよりも、どちらかと言えばなかなかうまくいかない婚活の状況を打破したいという女性が多いようですね。

吉沢「婚活に関しては、相談所の会員になっている人、マッチングアプリを活用している

ポイントは自分自身を変える SNSのフォロワーは12万人

人、自力で探している人と様々です。ところが、なかなかうまく行かないという人が多いのも現状です。その理由は、自分が不器用、おとなしい、勇気が出せないことから、【自分なんて・】とつまづいている女性側にも課題があります。自分自身で、こじらせてしまっていることが多いわけです。そこで、コミュニケーション方法や外見も含めて、自分を変えていくことをアドバイスしています。ハイスペック男性が求める基準を踏まえて、マーケティング・心理学を活用した独自プログラムでは、ビジュアルプロデュース、コミュニケーション研修、戦略立案、デートフィードバックを中心に、年齢・経歴に関係なく結果を出すためのサポートを実施。ファッション・美容・ライフスタイル関連商品などの、提携先企業も紹介しています。ここで大切なことが、婚活のマッチングで女性会員にありがちな、正攻法では難しいから条件を下げるということはせず、それよりも自分の望みを叶えるために、自らを高めていくという考え方です。」

——相談所などでは、成婚のために相手に求める条件を下げることをアドバイスすることも多いようですね。これとは全く逆の発想ですね。

吉沢「そもそも婚活がうまく

婚活塾は毎回満員の申込み

婚活をする女性向けに、自分磨きのための情報をサイト、研修会、オンラインサロンなどを通じて発信しているのが、はんなり(東京都品川区)が運営するハイスベ男子総合研究所だ。同社は、平均年収5000万円の男性100名以上へのリサーチに基づき、恋愛、結婚で求められる女性像を情報提供。研修会などに参加する女性に対しては、婚活でありがちな自らのハイキャリア、高収入を偽ったり、交際相手の条件を下げることなく、自分自身を磨くことで条件に見合う男性から「モテる」ようになることを重視している。実際に交際に至るのが難しいと言われる、アラフォーやアラフィフ、恋愛経験ゼロ、バツイチ子持ちの女性であっても交際、結婚に至っており、その実績に対する女性からの評価が高まっている。

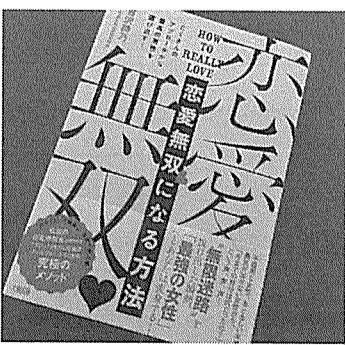
同社は2018年からサービスを開始しているが、3ヵ月間の研修【恋愛婚活塾・総研アカデミー】はこれまで13期開催し、延べ受講者数は300名に達する。1回あたり18名の定員は、順番待ち、キャンセル待ちも出ており、追加募集もするほどだ。またブログやメルマガ、ツイッター、インスタなどでも随時情報を配信し、講師陣のSNSのフォロワー数はトータル12万人にも達している。

自らも年収5000万円以上の男性と結婚し、さらに女性の婚活をアドバイスする書籍の発行、テレビなどにも出演している、代表取締役の吉沢詩乃氏に、そのポイント聞いた。

【こじらせ】の現状を打破

——自らのパートナー探しの経験が、現在の事業に繋がっているようですが。

吉沢「10年前、エステサロンを独立開業した際に、離婚を経験しました。そこで新たなパートナーを見つけるために、自分自身で試行錯誤しました。もと



▲吉沢氏が出版した書籍。女性からの支持で人気

年収5000万円の男性が求める女性像に基づいた婚活塾 研修受講者の96%が即告白される